

**製品名: Stat6 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18369**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA                                |
| 反応性    | 人間、ネズミ、サル  |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量  | 94kDa  |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | STAT6  |
| 別名           | STAT6; Signal transducer and activator of transcription 6; IL-4 Stat |
| 遺伝子 ID       | 6778.0   |
| SwissProt ID | P42226   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト STAT6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 608-657                      |

**背景**

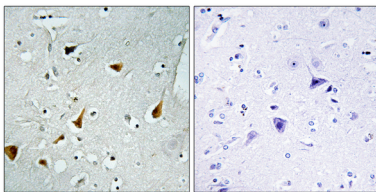
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーです。サイトカインや成長因子に反応して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞

核に移行し、そこで転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、IL4 を介した生物学的応答の発現において中心的な役割を果たします。IL4 の抗アポトーシス活性を担う BCL2L1/BCL-X(L)の発現を誘導することが分かっています。マウスを用いたノックアウト研究では、この遺伝子が Tヘルパー 2 (Th2) 細胞の分化、細胞表面マーカーの発現、免疫グロブリンのクラススイッチに関与していることが示唆されています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010年5月]、機能: シグナル伝達と転写活性化という二重の機能を果たします。インターロイキン-4 シグナル伝達に関与する。、PTM:IL-4 および IL-3 刺激後にリン酸化されるチロシン。、類似性:転写因子 STAT ファミリーに属する。、類似性:1 つの SH2 ドメインを含む。、細胞内局在:リン酸化に反応して核に移行する。、サブユニット:関連ファミリーメンバーとホモ二量体またはヘテロ二量体を形成する (類似性による)。C 末端 LXXLL モチーフを介して NCOA1 と相互作用する。、

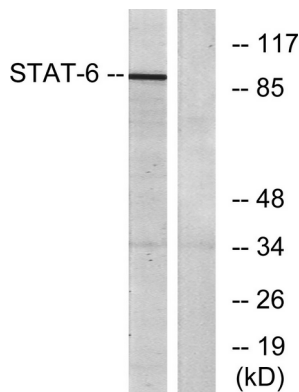
## 研究分野

ジャク\_STAT;

## 画像データ



STAT6 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



STAT6 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。